

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
津山市	津山中央地区	令和3年3月31日	令和2年3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	437ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	221ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	107ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	62ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	79ha
(備考) 転出して長い者、法人等組織が該当する年齢不明の農地面積がおおよそ1ha存在する。	

注1:④についてはR2年度までの中心経営体に登録があったもののデータになります。

2 対象地区の課題

地区内における70才以上の耕作面積の内、半分以上が後継者が未定の農地となっている。そのため、中心経営体に貸し付けるなど、農地の新たな管理者を見つける必要がある。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>■担い手について</p> <p>津山中央地区の担い手については、鉄砲町・総社・靱保・横山を除いた地域では、地域の話合いの結果に従う事を基本とする。鉄砲町・靱保では自身を含めた地域内の住民のみで耕作を続けることを考えており、総社では農地所有者は、原則として農地を既存の営農組織や農業法人に貸し付けることで対応しようと考えている。横山は農地所有者は、出し手・受け手に係わらず、原則、農地を中間管理機構に貸し付ける意向となっている。</p>
<p>■作物の作付について</p> <p>津山中央地区の作物生産については、鉄砲町・山北・横山を除いた地域では、地域の話合いの結果に従う事を基本とする。鉄砲町は自家用の野菜を作付し、山北・横山では地区全域で水稻を作付けする意向となっている。</p>
<p>■基盤整備について</p> <p>津山中央地区の基盤整備の取組については、山北・靱保・横山を除いた地域では、地域の話合いの結果に従う事を基本とする。山北・靱保・横山では、基盤整備は行わず、現在の状態を維持することで対応することを考えている。</p>

注1:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

■農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、45筆、614,766㎡となっている。

■農地中間管理機構の活用方針

中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付希望数(筆)	貸付希望面積(㎡)
1	川崎	39	19,936
2	野介代	113	69,375
3	林田	54	30,336
4	上之町	1	208
5	小田中	98	44,054
6	上河原	2	3,068
7	北園町	2	456
8	山北	4	2,472
9	総社	49	34,236
10	小原	41	15,233
11	志戸部	38	19,030
12	勝部	209	134,685
13	靱保	46	28,684
14	紫保井	89	72,176
15	大田	24	6,696
16	沼	15	5,195
17	大谷	32	16,501
18	横山	25	12,507
19	八出	63	39,170
20	小桁	46	29,714
21	金屋	27	8,339
22	押淵	10	11,889
23	荒神山	18	10,803
	計	1,045	614,762